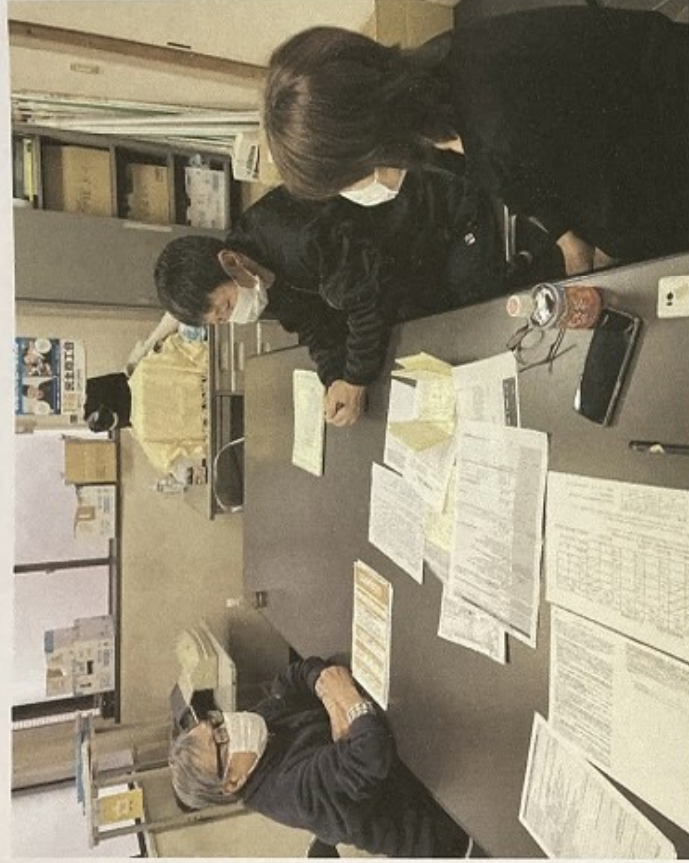


事業復活支援金の申請

役員がサポートし申請相談会を開催

事業復活支援金の要望が高まるなか、説明学習会に続いて4月3日(日)、集中申請相談会を行いました。ネット申請のため予約制で行い、25人が申請相談に訪れました。4人の役員が申請委員の支援に寄り添いました。



事業復活支援金は、揃える資料も申請のしかたも複雑で、なかなか一人では難しい内容です。しかも申請するにあたって、事前確認機関で事前審査を通さなければ申請できないというもの。

開始時間の10時から相談

者がぞくぞく訪れ、立ち会った役員は申請者の確定申告書2〜3年分、売上減少を比較する2年前の売上帳や請求書と入金履歴を確認する通帳など、膨大な申請書類を丁寧に説明し、揃える作業を行いました。

事前審査について、確認機関は「商工会議所」「取引金融機関」「税理士・会計事務所」などがありますが、「どこへ行ってもできない」との声を受け、民商から支援を要請し、塚越民夫行政書士が来所して1日協力体制を取っていただきました。相談会当日は19人が塚越



春の仲間増やし、1日で84人拡大!
商工新聞読者174人、会員68人拡大!

春の運動期間が3月31日で終了しました。3月30日に行われた理事会で、商工新聞の拡大が進んでいないことが討議され、「残された明日1日ですべてできる限り読者を増やそう」と決議しました。翌日朝から会議に参加した役員から拡大の報告が次々入り、自分の抱えている職人さんたちにと一気に10人拡大する人も。1日で商工新聞読者が84人も増えました。「皆で何とかしよう」との団結の力で仲間増やしを行い、読者拡大では県内民商で第5位(会員拡大は第3位)になり、埼商連から表彰を受けました。

氏の事前確認を受け、審査をパスし、事業復活支援金の申請を行いました。



審査をパスして、やっと第一関門突破、続いてパソコンで複雑な申請手続きです。事務局員も総出で申請要綱をにらみながら、ここで項目を入力しつつ膨大な資料データをアップロード。間違いがあると「不備修正」メールが届くので、申請作業は事務局員も神経を使う作業です。

当日は行政書士の事前審査、その後本申請作業と流れ作業で行い、25人の支援金申請が無事に終了しました。

塚越行政書士による「事前審査」は4月22日(金)にも民商事務所にて対応していただけますので、民商事務局へお問い合わせ下さい。